

10/29 三島保育所 ハロウィンパレード

子どもたちはハロウィンにちなんだ衣装を着て、宮下町内の商店の店先で「トリックオアトリート（お菓子をくれないと、いたずらするぞ）」と元気よく声をかけました。





- 1_ 語り部サークル「ちゃんちゃんこ」の皆さんによる語り
- 2_ 絵画・切り絵部門の会場内
- 3_ 書道部門の作品
- 4_ 三島小学校児童による全員合唱（三島小まつり）
- 5_ ドルフィンマジックカンパニーによるマジックショー



三島町文化祭
三島小まつり同日開催

三島町文化祭は文化の日の11月3日、町民センターで開催されました。会場には、書、絵画、写真、生け花など町民の皆さんの作品が多数展示され、午後からは語り部サークルちゃんちゃんこによる民話の語りや、三島中生徒の合唱、文化協会加盟団体などによる芸能発表やドルフィンマジックカンパニーによるマジックショーが披露されました。

また、食堂も宮下婦人会の方々により運営されたほか、役場前では農産物の販売、会津地鶏唐揚げ、会津地鶏ラーメンやいわき市四倉からの海産物など、たくさんの品物が販売され、訪れた人を楽しませていました。

三島小体育館では生涯学習表彰式が行われ、各種コンクールで受賞した児童生徒を表彰しました。同日、三島小まつりも開催され、児童たちの学芸発表などが行われました。

学ぶ楽しさ再発見 文化の日

12月 目次

- 2 三島大橋修繕代行事業の起工式
- 3 三島町文化祭
- 4 TownNews みしまの出来事
- 5 第27回ふくしま駅伝 / 首都圏三島会第39回総会 / 第32回両沼地方交通安全町村民大会
- 6 町民記者通信
- 7 「越後と会津を語る会」についてご存知ですか？ / そばとジャガイモオーナー事業の開催（大石田地区） / そばの収穫作業～会津のかおり～（桧原地区） / 早戸地区で伝統ある虫供養 / 「かしや猫ロードトレッキング大会」行われる（間方地区）
- 8 みんなの公民館
- 9 診療日記 他
- 10 民話
- 11 各種お知らせ
- 12 JR 只見線紅葉号 / 町長日記

安全で円滑な車両通行確保へ「全国初」三島大橋修繕代行事業



ボルト交換作業の様子

全国初の国による代行事業となる町道宮下・名入線の三島大橋修繕代行事業の起工式が10月27日、現地で行われました。起工式には約50名が出席され、矢澤町長及び山田国土交通省東北地方整備局道路部長が挨拶され、原田国土交通省郡山国道事務所長からの工事概要と経過の説明の後、出席者向けにボルト交換作業が公開されました。

国土交通省では、平成26年度に実施した三島大橋の直轄診断結果に基づき、使用されているボルト約1万9千本の全てを交換する修繕を今年度中に終え、平成28年度までに補修を完了する予定です。



原田国土交通省郡山国道事務所長から工事概要の説明を受ける



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



只見川第一鉄橋



社明運動標語コンクール特選
鈴木啓生さん（小5）



平成26年度福島県書初め展奨励賞
平成27年度たなばた展奨励賞
坂内遥人さん（中2）



第33回海とさかなの自由研究作品
コンクール優秀賞
坂内悠吏さん（小6）



第35回FCT 児童画展特選
交通安全標語コンクール特選
二瓶佳悟さん（小3）



交通安全標語コンクール特選
青木亜衣さん（中2）



社明運動標語コンクール特選
小柴ひなのさん（中2）



社明運動標語コンクール特選
菅家雄太さん（中3）



社明運動標語コンクール特選
板橋 唯さん（小5）

生涯学習表彰 社明運動・交通安全標語コンクール表彰

「ふるさと」で6年ぶりに開催 首都圏三島会 第39回総会



2日目に行われた総会



初日に行われた交流懇親会の様子

首都圏在住の当町出身者の会、首都圏三島会の第39回総会が11月7日・8日、三島町生涯学習センターで開催されました。初日に行われた交流会には、会員17名が出席し、町からは矢澤町長はじめ町議会議員、町関係者30名が出席しました。矢澤町長から渡部保男会長（高清水出身）に補助金を手渡され、交流会の席上では、郷土料理に舌鼓をうちながら、「ふるさと」での再会を喜び、神楽の披露で、大いに盛り上がりました。2日目は会員により総会が行われ、2日間の日程を終了しました。

交通事故のない明るい社会の実現に向けて 第32回両沼地方交通安全町村民大会三島町で開催



交通安全について提言した小学生代表の小松凌大さん（三島小6年、西方）



大会宣言を行った交通安全母の会の小松けい子会長

両沼地方交通安全町村民大会が11月21日、生涯学習センター体育館で開催され、両沼町村から約200名が出席し、大会では各種表彰が行われ、交通事故死者ゼロ2000日を達成した当町が特別表彰を受けたほか、二瓶一男さん（西方）ほか6名が特別功労賞、目黒恒子さん（滝谷）ほか11名が功労賞を受けました。その後、交通安全習字コンクールで入選した小中学生が表彰されました。また、小松凌大さん（三島小6年、西方）ほか5名が交通安全についての提言を発表しました。最後に、三島町交通安全母の会の小松けい子会長が大会宣言を行い、交通事故のない安心して生活できる社会の実現に向けて協力していくことを誓いました。

ふるさとのタスキを胸に95.1km 感動を届けた「希望ふくしま」



7町村連合チーム「希望ふくしま」総合38位相当（参考記録） 当町から北館亮さん（役場・西方）が出場

第27回ふくしま駅伝は11月15日、白河市から福島市までを縦断する16区間、95.1kmのコースで開催されました。当町は7町村連合チーム「希望ふくしま」として参加し、北館亮さん（役場・西方）が福島大学入口から福島県庁前ゴールまでの16区最終区間を走りました。また、菅家功さん（大槻中教諭・高清水）が補欠選手としてサポートしました。各選手が勇気と希望を胸に全力でタスキをつなぎ、53チーム中38位相当の成績でゴールしました。

連合チームとして3回目の出場となった今回は、金山町教育委員会が事務局を担当。選手と実行委員など約80名の体制で大会に臨み、当町からもスポーツ推進委員の方々のご尽力をいただきました。

7町村連合チーム「希望ふくしま」の大会結果

区間・距離	選 手	年齢・学年・所属等	町村	区間記録	区間順位
1区 4.0km	木 戸 美 帆	石川町社会福祉協議会	葛尾	14' 45"	32位
2区 8.2km	遠 藤 健 次	ふたば未来学園高1年	川内	29' 51"	43位
3区 5.8km	三 瓶 将 哉	川内中3年	川内	21' 13"	43位
4区 7.3km	渡 邊 岳 之	JA会津みどり農業協同組合	湯川	24' 05"	19位
5区 6.7km	柏 木 純 翔	湯川中2年	湯川	24' 10"	29位
6区 8.3km	五ノ井 浩	NEC情報システムズ	金山	30' 05"	42位
7区 5.2km	猪 狩 拓 未	川内中3年	川内	19' 08"	33位
8区 4.1km	若 松 聖 也	川内中2年	川内	15' 13"	33位
9区 3.0km	小 林 栞	湯川中3年	湯川	12' 37"	41位
10区 9.3km	鈴 木 貴 人	ふたば未来学園高教諭	湯川	32' 58"	46位
11区 3.9km	三 瓶 佳 純	にいがた製菓・調理専門学校2年	湯川	16' 37"	43位
12区 7.0km	中 丸 凌 太	こおりやま東都学園1年	金山	24' 34"	27位
13区 4.8km	竹 内 孝 幸	昭和中教諭	昭和	20' 15"	52位
14区 5.7km	穴 澤 進	桧枝岐村役場	桧枝岐	21' 19"	39位
15区 3.4km	中 丸 未 結	金山中3年	金山	13' 49"	38位
16区 8.4km	北 館 亮	三島町役場	三島	30' 05"	45位
全長 95.1km	5' 50' 44" 総合38位相当（※連合チームのため参考記録）				



最終区間で力走した北館亮さん



選手の健闘をたたえた解散式



そばの収穫作業～会津のかおり～（桧原地区）

文・写真 町民記者 佐々木邦雄さん（桧原）



10月24日に行ったそば刈り



石抜き作業の様子

桧原農事生産組合の代表阿部通利さんほか役員6名にて、今年、一連の作業の流れの中、11月8日に最終工程の石抜き作業と袋詰めを実施しました。今年も昨年同様、大変良い出来栄えで、作業にも大変力が入りました。今年は会津地区全体として、昨年より減収との事で、そばの価格が上昇する見込みとの事です。来春、地区の総会で良い決算報告が出来るよう、役員一同楽しみにしています。

早戸地区で伝統ある虫供養

文・写真 町民記者 五十嵐信一さん（早戸）



虫供養塔前で記念写真を撮りました

11月10日、早戸地区で、この地に古くから伝わる虫供養が行なわれました。小雨の降る中、午後1時に当地区の一番外れから、佐久間弥一さんが一定のリズムで鐘をたたきながら歩き始めました。今年は、三島小学校の3～4年生12名も参加して一緒に歩きました。地区の反対側にある虫供養塔に到着すると、一人ひとりお参りました。線香をあげて神妙な面持ちで手を合わせていました。お参りが終わると、早戸区長から全員にお護符が渡されました。鐘をたたいた佐久間弥一さんが、「最近はお子さんの参加者が少なくなっていたけれども、今日は大勢来てもらって、昔に帰ったようだ」と話していたのが印象的でした。

「かしゃ猫ロードトレッキング大会」行われる（間方地区）

文・写真 町民記者 菅家壽一さん（間方）

11月1日、紅葉が終わりに近づく中、落ち葉を踏みしめて、第4回「かしゃ猫ロードトレッキング大会」が行われました。約50名が参加され、天候にも恵まれ、楽しいトレッキングとなりました。志津倉山登山口で、開会セレモニーを行った後、4班に分かれ、地区の案内人により、サワグルミの沢くるみちゃん、トチの栃太君、ブナの樫志津男君の巨木と雨乞い岩等の説明をしながらゆっくりと歩きました。巨木からのパワーと森林からの癒しをいただき、大辺山の秋の一時で、日頃のリフレッシュをしていただきました。昼は集会所において、母ちゃんたちが作った、おにぎり、サクサク煮、山菜、イワナ等の料理とかしゃ猫の紙芝居で楽しんでもいただきました。トレッキングコースは、地区の活性化に繋げようと、県のサポート事業と町の地区支援事業の支援を受けて設置したもので、管理は地区で行っています。この大会は、観光協会のご協力により、毎年紅葉の季節に実施しています。



参加者全員で記念写真を撮りました

「越後と会津を語る会」についてご存知ですか？

文・写真 町民記者 本名与四郎さん（西方）



喜多方市関柴町下関柴に伝わる「三人舞」



「幣舞」と呼ばれる会津彼岸獅子の一つ

10月18日、午後1時より、喜多方プラザ文化センターにおいて「第29回 越後と会津を語る会」が行われました。三島町からは佐藤幸志さん（西方）、小柴七治さん（西方）、小松順太郎さん（西方）、栗城隆雄さん（西方）、横田源一さん（高清水）、小松豊さん（西方）と町民記者合わせて7名が出席しました。はじめに、オープニングセレモニーとして、喜多方市関柴町下関柴彼岸獅子舞が披露されました。開会式では、実行委員長の挨拶や喜多方市長である山口信也氏による歓迎の言葉がありました。本題のトップを切り、長岡市郷土史研究家の深滝純一氏が「日本の最後の武士は山本帯刀（やまもとたてわき）」というタイトルで研究発表がありました。話の中で興味を引いたのは、山本家の跡を継ぐ者がいなかったのも、旧長岡藩士の高野貞吉の六男で、貞吉が56歳のときに生まれたその男が、後の連合艦隊司令長官の山本五十六であったということです。続いて、直木賞作家である中村彰彦氏が「保科正之から新選組まで」という表題で歴史的検証をもとに90分にわたる講演がありました。最後に、山都町郷土史研究会の小澤弘道氏が「会津地方の民家と越後大工の活躍」というタイトルで研究発表がありました。多くの民家や神社仏閣の写真を提示しながら、現在の新潟市西蒲原区間瀬地区から多くの大工が会津地方での信頼と密接な交流を持ち、仕事を通して会津に移住し、また、結婚して会津の住人となり、その子孫や越後大工に弟子入りして数多く活躍したことが今でも言い伝えられているということでした。

そばとジャガイモオーナー事業の開催（大石田地区）

文・写真 町民記者 中 兵一郎さん（大石田）



太鼓に合わせて全員で盆踊りを行いました

11月22日、大石田福一満そばクラブで納会を行いました。オーナー7組16名の方が参加して楽しく過ごすことができました。朝10時から開会式、その後ソバ打ちのグループと餅つきのグループに分かれ、ソバ打ち体験と餅つき体験（臼つき）を行い、その後出来上がったそばと餅をいただきました。交流会ではソバ口上、尺八演奏、ハーモニカ演奏、カラオケと盛り上がり、最後は甚句と全員の盆踊りでお開きとなりました。

君だけのサイの札を作ろう！

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）

11月20日、三島小学校全児童は、書家の千葉清藍氏の指導を受け、自分だけのサイの札を制作しました。桐とヒロロでできている絵馬に児童がそれぞれ自分の願いを書き、全員で三島神社に奉納しました。この絵馬は来年1月15日に宮下地区の「サイの神」で燃やされることになります。



絵馬を三島神社に奉納しました

三島町の皆さまへ

～耐震改修工事期間中における診療内容のご案内～

福島県立宮下病院長 浅野 宏

宮下病院では、建物の耐震性強化を図るための耐震改修工事を、下記のとおり実施します。

耐震改修工事の期間中は、騒音や振動が発生するため、入院することができなくなりますので、入院中の患者さんは一時的に坂下厚生総合病院に転院していただくことになります。外来診療につきましては、下記の工事期間中も行いますが、午後からは騒音や振動が発生しますので、緊急な場合を除いて、できるだけ午前中に御来院くださいますようお願いします。

宮下病院周辺にお住まいの方には、工事に伴って発生する騒音や振動で御迷惑をおかけしますが、御協力の程をよろしくお願いします。

記

- 1 耐震改修工事の期間
平成27年12月5日（土）～平成27年12月27日（日）
- 2 耐震改修工事の実施時間
午後1時～午後6時

☎福島県立宮下病院事務部 ☎0241（52）2321



診療日記 ～貧血～

宮下病院内科医長 小山 大輔

健診や病院での定期採血等で貧血を指摘される患者様はたくさんいらっしゃいます。貧血の中で最も頻度が高いのは、「鉄欠乏性貧血」という病気です。肺から全身へ酸素を運搬する「ヘモグロビン」を作るのに「鉄分」が必要であり、何らかの原因で「鉄分」が不足すると貧血になります。治療として、鉄分を飲み薬、あるいは注射で補うことで貧血は改善しますが、大事なのは、その鉄分が足りなくなる「原因」を検査して特定することです。高齢者の方は胃癌、大腸癌等の悪性腫瘍が隠れていることが多く、内視鏡検査等で異常が見つかる例が少なくありません。貧血が見つかった場合は必ず原因検索のための検査を受けることを強くお勧めします。

三島町役場より

11月より職員全体朝礼始まりました

11月より毎朝、職員全体の朝礼を始めました。朝の挨拶から始まり、町長日程や来客予定者の確認、職員による1分間スピーチなどを行っています。朝礼の実施により、役場全体の情報共有と連帯感を高め、また効率的な事務事業の執行を目指していきます。



朝礼の様子

税務署からのお知らせ

税務署では、適正かつ公平な課税を行うため、不動産使用料の支払調書などをはじめとする各種情報を収集・分析するとともに、納税者の方に自主的な適正申告を行っていただくための取組を充実させていくこととしております。昨年、仙台国税局管内の各税務署では、書面でのお尋ねにより申告内容の自主的な見直しを呼びかける取組を行った結果、不動産所得の申告漏れや計算誤りがあった方から修正申告書等が提出されております。

納税者の皆様におかれましては、適正申告を行っていただくため、再度、申告内容の自己点検（見直し）を実施していただき、誤りがあった場合には早期に自主的な修正申告書等の提出をお願いします。※調査によらない自主的な修正申告書の提出については、過少申告加算税は課されません。（無申告又は当初申告が期限後申告の場合は、無申告加算税が課される場合があります。）

☎会津若松税務署 0242-27-4311（代表）

みんなの公民館

☎三島町公民館
☎（48）5599

◎プロの生演奏を聴く

トリオ・レゾム・スカイコンサートは11月22日、交流センター山びこで開催されました。トリオ・レゾム・スカイは、サクソ奏者の山浦雅也さん（会津美里町出身）と完戸吉由希さん（南相馬市出身）、ピアノ奏者の小瀧俊治さん（仙台市出身）の若手3人組。第1部では「アヴェエマリ」 「ツイゴイネルワイ



サクソとピアノの公演を行ったトリオ・レゾム・スカイ（Trio Les hommes SKY）。その名はそれぞれの頭文字（Shishido・Kotaki・Yamaura）から取った「空の男たち」という意味（左から、完戸吉由希さん、小瀧俊治さん、山浦雅也さん）

ゼン」など4曲、第2部

では「小さな世界」「日本の童謡メドレー」「情熱大陸」などよく知られている曲を中心に5曲を演奏し、プロの技術による見事な音色がホールに響きました。最後には花東贈呈とアンコールに沸き、さらに2曲を披露しました。会場には町内外から約150人が訪れ、2時間ほどの公演をゆつくりと楽しみました。

公民館では、今後も交

流センター山びこなどの施設を活用し、今回のような音楽も含め本格的な芸術に親しむ機会をつくっていきたいと考えています。

◎シェフの料理を児童生徒みんなで味わう

超人シェフ倶楽部の協力による「スーパー給食」は10月28日、交流センター山びこで開催され、三島小・三島中の全校児童生徒が参加しました。東京・代官山でフランス料理店を営む浅水屋巖シェフを招き、「かぼちやのバターライス」「地鶏とひらたけのフレンチ春巻き」など三島町の食材を使ったメニューで食事を開きました。小中学校に「お楽しみランチ」を提供しているランチBOXの方々も調理に協力しました。児童生徒は食

事後、浅水屋シェフに質問をするなど、料理に携わる仕事に興味を持った様子でした。

当町では完全給食を行っていないため、児童生徒は同じ食事を毎日みんなと一緒に食べる経験ができません。月3回ほどの「お楽しみランチ」はそのような経験の場にもなっています。今回のスーパー給食では、シェフの料理を大勢で味わうことができ、児童生徒にとって貴重な経験となったと思います。



シェフの料理を味わったスーパー給食



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

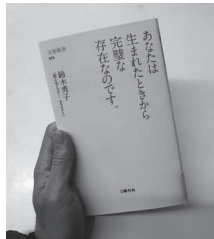
●利用時間 ㊥～㊦ 9:00～21:00 ㊧㊨ 9:00～17:00 ●お休み 年末年始



君の臓臓をたべたい

住野よる 著
双葉社

偶然、僕が病院で拾った1冊の文庫本。それはクラスメイトが綴っていた、秘密の日記帳だった。そこには、彼女の余命が、もういくばくもないと書かれていて一。



あなたは生まれたときから完璧な存在なのです。

鈴木秀子 著
文藝春秋

伝説のシスターが語る。「どんなに弱い人でも、どんな苦しみの中にいても、人はたった一つのことを知るだけで必ず幸せに生きることができるのです」



あっ！命の授業

ゴルゴ松本 著
廣済堂出版

「夢は必ず叶う！」「泣いたら立ち上がる！」「辛いのは幸せに変わる！」。後輩芸人を励ましたことから始まった、心を変える言葉の授業、待望の書籍化。

民話



第57話 龍神様の門松

元話 故 片 山 長 平さん（松 原）
再話 五十嵐 七 重さん（西 方）

昔あったとお

山奥の川つぶちに、年中貧乏な男いでやったとお。子供ど母様三人でやつと食べでらったど。雪が二間も積もつから、なお容易でなかつたど。

さで、正月近くなつて正月用意しつかど思つても金がねえ、子供さも母様さもなつても買つてくれるよねえ。門松ぐれえはでつかい皆たまげるようながな、迎えてくつかंना、つて裏山さ行つたど。あつっこつ探して、いぎま良い門松めっけで、やつとごすつとご雪の上引っぱつて来たど。

「今来たぞお。今まで見たごどねえほど、でつかい門松迎えできたぞ」つたあ

「なんだいまあゝこんなでがいがな、どごさ立でんだど。人出入り出来めえ」

「いやいや 年徳様にこれで勘弁してもらあだ」

「いやいや 村の笑い者だべ。下の大淵さ捨てできらつしえ」母様におごらつちえ枝二三本切つて、やつとの思いで大淵の崖さひっぱつてつて

「龍神様ゝ、これ おれの正月のお祝いだから、受けてくなんしよゝ」ジャポーンとおんまぐつたど。ところが 門松はグルグルグル渦巻きみでえに巻いで、せがスーッと沈んでいったど。

「ああゝ龍神様受けどつてくれやった。よがった よがった」戻り足になつたら「ちよつと まつちえくんつえ。おれは龍神様の使いで来ました」こめらが手招きしてんだど「おや おれが門松、あんまでつかくて龍神様怒つたのが」

「いやゝそれどごんねえ。龍神様大喜びで、心良いがらせで来お、そう言わんの」「そんなじゃも川ん中さ入るに、大変だなあ」

「さすけね さすけね、目隠して俺さくついで来てくんつえ」どごどごどごどご行つたら、いやあゝすばらしいお屋敷で、ごつとおはすごいべ大した御馳走になつて、龍神様に喜ばつちやど

「竜宮城始まつての良い門松だつたぞ。誠にありがだがつたぞ。お前えにお礼をしたいぞ。何が良いかな？無え物なんて無えだ」

「んじやつて俺あ、かがあに怒らつちえ捨てたがんだも・・・」

「いいがらいいがら。そんなじゃらこつちがらあげるよ」ちゆわつちえ、大した箱さ入つたの幾箱も貰つて、子供に送らつちえ家さ着いただど。

「かがあ今来たぞお。とでも大したどごさ行つて来た」

「あんな門松一本おんまぐつてくんのに、いづまでかがつてんの」怒りながら、出てきた母様、たまげつちまつたど。

「やんだやんだ こうだに、宝物んねえのがよ」つたべえ

「そうやれ龍神様からもらつてきただぞ。どの箱さもいっぺえ入つてんぞ」

お金やら、金、銀、珊瑚、それこそ綾錦、宝物がいっぱいだじゆ。みんなぶつたまげでしまつたどお。それでまあ、大変にその家さ栄だ。

龍神様の門松のお祝いの話。

ざつと昔 栄ました

蕎麦口上

久保田 テル子さん（間 方）

一つ ひまないこの奴

二つ ふたをばさつとり

三つ みごとにもりし蕎麦

四つ 四方の村までも売り広めたるこの奴の働き

五つ いつまでもひまがない

六つ 無用にあがらんしよ

七つ 名代の蕎麦なれば

八つ 屋敷のめでたさに

九つ ここで売り広め

十おでとつぷりとおあがり下さい

第 67 回人権週間

12月4日～ 12月10日

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、12月4日から12月10日までの7日間を「人権週間」として、いじめや差別、虐待、セクハラ、配偶者やパートナーからの暴力、近所間の騒音、その他人権にかかわる問題について、電話相談を実施します。相談は人権擁護委員及び法務局職員が応じ、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

なお、強化週間の期間以外の日（土・日・祝日を除く）においても、相談に応じていますのでご利用ください。

みんなの人権 110 番
0570-003-110
子どもの人権 110 番
0120-007-110
女性の人権ホットライン
0570-070-810

☎ 福島地方法務局人権擁護課 福島県人権擁護委員会連合会

三島町議会よりお知らせ

去る11月17日付にて、海老名 健 議員から一身上の都合による議員辞職願が提出され、受理いたしました。

これにより同日付けで議員辞職となりましたので、お知らせいたします。

12 月の納税

納期限 12月25日

- ▶固定資産税 第 3 期
- ▶国民健康保険税 第 5 期
- ▶介護保険料（普通徴収） 第 5 期
- ▶後期高齢者保険料（普通徴収） 第 5 期

忘れずに納付ください。
役場 町民課

地域ふれあいサロン

【浅岐あったかサロン】

日 時 12月8日㊥ 午前10時から
場 所 浅岐集会所

【サロンないり】

日 時 12月10日㊥ 午前10時から
場 所 名入公民館

心配ごと相談（人権相談）

日 時 12月10日㊥ 午前9時30分から
場 所 福寿草

☎町社会福祉協議会 ☎（52）3344

ご寄附

ありがとうございました

町への寄附（ふるさと納税）

志 田 敏 彦 様（茨城県ひたちなか市）

町社会福祉協議会への寄附

ご遺志によるもの

五十嵐 善 男 様（大 登）

片 山 敏 幸 様（松 原）

五十嵐 栄 様（滝 谷）

町の人口と世帯

11月1日現在

人口	1,775	-4	出生	1
男	858	-1	死亡	2
女	917	-3	転入	2
世帯	795	-2	転出	5

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

多くの鉄道ファンを魅了する SL只見線紅葉号が運行



紅葉の山々を背に只見川第一橋梁を走るSL



三島保育所の子どもたちが一日駅長を務めました

10月31日・11月1日の両日、SL只見線紅葉号が運行され、多くの鉄道ファンが奥会津を訪れました。会津宮下駅では、三島保育所の子どもたちによる1日駅長が来客を出迎え、会津地鶏弁当やけんちん汁が販売されたほか、終点の会津川口駅では、奥会津5町村が特産品などをPRし乗客を温かく迎えました。紅葉の中を走るSLを撮影しようと、沿線の撮影ポイントには多くの写真愛好者であふれ、賑わいを見せていました。

町長日記（不易流行）No.5

この職に就任させていただき6ヶ月が過ぎ、広報誌が町民の皆さんのお手元に届く頃は「師走」でなんとなく気ぜわしくなる時期になります。国や県等に対する陳情や要望、各種大会や研修会で町を離れる事が多く、在庁している時は町関係の会議や研修会、来庁者の対応に追われ、それこそ毎月が「師走」のように過ぎ、あつという間の6ヶ月でした。

振興計画後期基本計画や地方創生計画等の樹立のための地区座談会等を受け、計画の素案づくりを進めてきました。その素案を受け、第2回の地区座談会開催の準備をしています。

今回は、各種団体の皆さんとも座談会を開催し、各集落や団体の課題等を通して町の将来のあるべき方向性を探って行きたいと考えています。

町づくりの原点は「地区振興」にあるという理念を「職員で共有」しながら、町民の皆様に喜んでいただける計画づくりをしていきたいと考えています。

今回の計画の大きなポイントは、少子高齢社会や健康づくり及び教育の課題に対応した施策を有効に打ち出す事であると考えています。そのための「カギ」は町民の皆さんや各団体の皆さんと「町づくり基本条例」に基づいた、「協働」の精神を共有化することだと考えています。

出来ない理由をあげるのとは簡単です。いかにしたら実現できるのかという事を考え、「頭」や「心」そして「体」を動かす事により、「地域社会」全体が動くものであると確信しています。町民の皆さんが「夢や希望」を持ち、且つ当事者意識が実感できる町の実現の為に「互いの縁」という関係性を再構築することが、限界集落や限界町村に対抗する、我々山村に生きる道であると信じています。希望は過去にあります。

三島町長 矢澤 源成

発行 三島町 編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎ 0241 (48) 5511

ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>

印刷 北日本印刷株式会社